

プラットフォームから、被災者のために迅速な支援を

# JPF NEWS vol.18

認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム

2018 SPRING

Story 支援現場から

#1 ミャンマー避難民人道支援

着の身着のまま

避難してきた人に寄り添う

#2 東日本大震災被災者支援

たくさん遊んだ思い出を作る

ミャンマー避難民人道支援(2017年10月) © Turjoy Chowdhury/Disasters Emergency Committee

紛争や自然災害は巨大化・頻発し、影響を受ける人が増える中、  
ジャパン・プラットフォームは現地のニーズにもとづく支援を届けるため、活動を続けています。



## JPF発! SDGsを考える

SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年に開催されたニューヨークの国連総会で、貧困や飢餓を撲滅し、地球環境を壊さずにより生活を送ることができる世界をめざそうと世界の国々が採択したものです。

SDGsは17の目標と169の実行項目で構成され、目標期限は2030年。例えば、目標4は「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」とありますが、JPFも複数のプログラムで教育関連の事業を行っています。JPFは被災者のニーズに寄り添いながら、そしてプラットフォーム上の方々の知見や力を集めながら支援をする中で、SDGsの目標達成にも貢献し、「誰一人取り残さない」世界の実現にチャレンジしてまいります。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



## JPF賛助企業・団体一覧

「賛助会員」などにより、JPFの運営を平時からご支援いただいている企業を掲載しています。

アサヒグループホールディングス株式会社  
株式会社アシックス  
味の素株式会社  
アメリカン・エクスプレス・インターナショナルInc.  
株式会社アルファネット  
公益財団法人イオンワンパーセントクラブ  
株式会社伊藤園  
伊藤忠商事株式会社  
株式会社海  
株式会社エイアンドエフ  
一般社団法人えがお工房8  
特定非営利活動法人Fプロジェクト  
MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社  
オムロン株式会社  
花王株式会社  
キッコーマン株式会社  
キャンノン株式会社  
株式会社グローバルガーデン  
KCJ Group株式会社  
西部ガス株式会社  
サッポロホールディングス株式会社  
ジブラルタ生命保険株式会社  
スターツCAM株式会社  
スターツコーポレーション株式会社  
スターツ首都圏千曲会  
住友化学株式会社  
住友商事株式会社  
住友生命保険相互会社  
全日本空輸株式会社

創価学会平和委員会  
双日株式会社  
ソニー株式会社  
損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
株式会社大和証券グループ本社  
武田薬品工業株式会社  
立山科学工業株式会社  
ダンアンドブラッドストリートジャパン株式会社  
中外製薬株式会社  
帝人株式会社  
東京キリンビバレッジサービス株式会社  
株式会社東芝  
株式会社東陽  
東レ株式会社  
Dream World OHATA  
トヨタ自動車株式会社  
株式会社ニチレイ  
日産自動車株式会社  
日清紡ホールディングス株式会社  
日本エマソン株式会社  
日本酒文化を楽しむ会  
日本ゼオン株式会社  
日本たばこ産業株式会社  
日本ペイントホールディングス株式会社  
日本郵船株式会社  
株式会社ネットラインプレス  
野村ホールディングス株式会社  
株式会社博報堂DYホールディングス  
パナソニック株式会社

株式会社バリュープランニング  
東日本旅客鉄道株式会社  
ヒゲタ醤油株式会社  
株式会社日立製作所  
ファイザー株式会社  
富士ゼロックス株式会社  
富士通株式会社  
富士フイルム株式会社  
株式会社ブリヂストン  
株式会社マネースクウェア・ジャパン  
三井物産株式会社  
三菱金曜会  
公益財団法人三菱財団  
三菱商事株式会社  
三菱地所株式会社  
三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社  
安田不動産株式会社  
Yahoo!基金  
ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社  
株式会社UKCホールディングス  
株式会社ユーランド  
株式会社LIXIL  
株式会社リコー  
株式会社良品計画  
株式会社リンクレア  
霊友会  
ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社

## JPFへの様々なサポート

賛助企業・団体の他にも様々な企業・団体の皆様に、本業を活かしたサポートによりJPFの運営を支えていただいております。

Earth@Music  
Air Link  
株式会社NTTドコモ  
株式会社NTTコミュニケーションズ  
株式会社CROSSY  
KDDI株式会社  
公益財団法人KDDI財団  
一般財団法人ジャパンギビング  
スターツ信託株式会社  
スマートニュース株式会社  
株式会社セールスフォース・ドットコム  
ソフトバンク株式会社

大和証券株式会社  
高野寛之公認会計士事務所  
株式会社ディ・エフ・エフ  
社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団  
株式会社テレビ東京  
公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会  
株式会社日産レンタカーソリューション  
一般社団法人日本経済団体連合会  
日本航空株式会社  
日本商工会議所  
日本通運株式会社  
株式会社はてな

株式会社ハブネット  
公益財団法人パブリックリソース財団  
株式会社PR TIMES  
株式会社ファーストリテイリング  
株式会社三菱東京UFJ銀行  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
未来食堂  
ヤフー株式会社  
横河電機株式会社  
1%(ワンパーセント)クラブ

このほかにもご支援を頂いている多くの個人の方々、また特定の事業でご支援いただいている企業・団体の方々には、皆様のお名前を掲載することができず  
申し訳ありませんが、ここに心より御礼申し上げます。今後ともご支援のほど、宜しくお願い致します。

五十音順 敬称略

## 特定非営利活動法人(認定NPO法人) ジャパン・プラットフォーム

[東京事務所] 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-6-5 麹町GN安田ビル 4F TEL: 03-6261-4750 FAX: 03-6261-4753  
[東北事務所] 〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町2-14-24 仙台松井ビル6階

JPF 検索 [www.japanplatform.org](http://www.japanplatform.org) Japan Platform @japanplatform @jpf\_kokunai

ジャパン・プラットフォーム(JPF)はJPFの主旨に賛同し、活動を継続的にバックアップしてくださる個人の方や企業、団体を募集しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。





Story ~ 支援現場から ~ #2

東日本大震災被災者支援（福島支援強化）  
 たくさん遊んだ  
 思い出を作る

木に登ったり、ボルダリングをしたり、泥んこになったり！「自然の中でその子らしく遊べるように」とNPO法人青空保育たけの子（山形県米沢市）の辺見妙子代表が作った保育施設と「冒険遊び場」での子どもたちのようすだ。

辺見代表は2009年、子どもがリュックを背負って自然の中で遊ぶ幼稚園を福島市内に設立した。しかし2011年に震災が発生。野外で自由に遊ばせることを気にする家庭もある中で、辺見代表は「自然の中でその子らしく」は譲れなかった。そして、福島から車で1時間ほどの場所にある米沢市への移転を決めた。「誰かのせいにしてたり愚痴ったりするのは簡単だけど、子どもたちを連れ出す責任は自分にあると思った」と決意を振り返る。

米沢に移転してからは、JPFの資金助成や支援も受けて、辺見代表自らが古い納屋を改修して保育施設にし、庭には「冒険遊び場」を設立した。今では、福島市に暮らす子や米沢市内に自主避難する子が毎日元気に通園。土日は、思いっきり遊ばせたい」と福島から訪れる家族に開放している。ニーズの拡大を踏まえ、現在は宿泊施設のオープンを計画中だ。

辺見代表には、とりわけ忘れられない園児がいる。「66歳になったら福島で遊べる」と思っていた子だ。「その子は、ここでの思い出ばかりを話してくれたんです。大人になった時、場所が違って故郷があつて、たくさん遊んだことを思い出してほしい。その想いが私の原動力です」。



Story ~ 支援現場から ~ #1

ミャンマー避難民人道支援  
 着の身着のまま  
 避難してきた人に寄り添う

2017年8月25日以降にミャンマーから国境を越えてバングラデシュに避難した人※1は65万人以上にのぼり、その数はいまだ増え続けている。これだけ短期間に、これだけ大規模な避難民の流入は過去に例がなく、国際社会による緊急人道支援が急ピッチで進められている。

JPFは10月13日に対応を開始し、これまでに7つのJPF加盟NGO※2が緊急支援を実施した。着の身着のまま、背負えるだけの最低限の家財道具を持って逃げてきた人々からは、シエルター資材や衣類、衛生用品、台所用品などが求められている。また、疲れ果てて難民キャンプに辿りついた避難民の中には体調を崩す人も多く、医療支援のニーズも高い。

JPF加盟NGOの一つであるHUMA（災害人道医療支援会）から派遣された医師は「おたふくかぜの子どもがいたが、家には他にも子どもが6人いるらしく、狭い住居環境の中、感染が広まるのではないかと危惧している。住環境や衛生状態の改善が急務であり、医療だけでは解決できない状況だ。感染が広がらないように患者を見つけては次々と治療していくことが、医師として今できる支援だと思つ」と語る。

故郷に帰りたいけど帰れない。避難民の悲しみに寄り添い、命をつなぐための支援をこれからも続けていく。



雪の中でおもちゃで遊ぶ子どもたちと辺見代表(右) ©青空保育たけの子

※1: JPFでは、民族的背景および避難されている方々の多様性に配慮し、「ロヒンギャ」ではなく「ミャンマー避難民」という表現を使用します。

※2:  
 特定非営利活動法人 難民を助ける会、  
 特定非営利活動法人 グッドネーバース・ジャパン、  
 特定非営利活動法人 災害人道医療支援会、  
 特定非営利活動法人 モウサン・デュ・モンド ジャパン、  
 特定非営利活動法人 ピースウインズ・ジャパン、  
 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、  
 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン



©HuMA

©World Vision

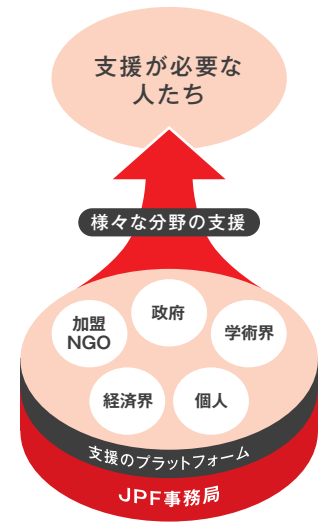
©PWJ



# JPFの最近の支援プログラム

JPFは、世界各地における自然災害による被災者、紛争による難民に対し、迅速で効果的な緊急人道支援を実施しています。2000年発足以来、47の国・地域において総額450億円以上、1,300事業以上の人道支援活動を展開してきました。

特長はNGO・経済界・政府のほか、学識界、メディアなどがパートナーシップの下に集い、それぞれの強みや資源を生かした連携・協力を実現していること。各得意分野を持つ47(2018年2月現在)の加盟NGOと情報や学びを共有し、さまざまなサポートをしながら、緊急人道支援のプロフェッショナルとして、ともに被災者や難民のニーズに根ざしたプログラムを実施しています。



①フードバンク事業の一環で、大学生が自主的に交渉したスーパーにてフードドライブ(食品回収キャンペーン)を実施 ②熊本各地での被災者の現状や支援ニーズを共有する会議をJPFとKVOADが開催 ③ミャンマーからバングラデシュへ避難した人々のために仮診療所での医療支援 ④紛争の影響から子どもを守るため、南スーダンのタンブラ郡で小学校低学年に教育の機会を提供する支援 ⑤ヨルダンのザアタリ難民キャンプの学校で、音楽やストーリーライティングなどを組み込む授業を提供する支援 ⑥視覚障害のある子には眼鏡を提供して通学を促進しながら学習支援センターで学ぶ機会を提供する支援 ⑦ガザでは乳幼児の30%以上に貧血が見られるため、医療支援を実施中 ⑧本を読んだり絵を描いたりするほか、イベントや語学教室も開講する機会とスペースを提供 ⑨教材ポスターを使ってDRR(防災・減災)について啓発する支援

### JPF2017年活動報告会

JPFは2017年12月7日、「第1回JPFデー：JPF2017年活動報告会」を開催しました。JPFは2017年から、JPFが設立された8月10日を「JPFデー」と名づけ、JPFにかかわってくださっているNGO、企業、政府、賛助会員、学生、JPF役員、JPF職員などすべての方々が、より深く活発なコミュニケーションを行う日を発足させました。プラットフォームで関係者がよりよい支援を実現するために知恵を絞ってまいります。

- ⑦パレスチナ・ガザ人道支援2014  
2014年8月～
- ⑧アフガニスタン  
帰還難民緊急支援2017  
2017年10月～
- ⑨モンゴル雪害対応2017  
2017年3月～
- シエラレオネ水害被災者支援2017  
2017年8月～

- ⑤イラク・シリア人道危機対応  
2012年11月～  
2012年11月からシリアと周辺国(イラク、レバノン、ヨルダン、トルコ)で避難民・難民に対して教育や医療、食料・物資配布などを通して支援している。
- ⑥イエメン人道危機対応  
2015年10月～  
推定人口2,930万人のうち約8割の22.2万人が何らかの人道支援や保護を要していると国連が発表しているイエメンにおいては、JPFは子どもたちのための緊急学習支援や食糧配布、栄養・衛生支援などをイエメン国内で実施している。

- ③ミャンマー避難民人道支援  
2017年10月～  
バングラデシュへ避難する人々の中には親を失ったり体調を崩したりした子どもたちもたくさん含まれている。JPFは支援のニーズを見極め、生活に必要な物資の配付や医療提供などを実施している。▶▶P2
- ④南スーダン支援  
2016年6月～  
数年後の姿を見据えて支援事業を計画する複数年プログラムを展開中。ひきこりの自立も念頭に置き活動している。水や食料の配布、衛生改善、子どもの保護、教員の研修などを行っている。

- ①東日本大震災被災者支援  
2011年3月～  
福島では「社会的弱者の支援」「地域セーフティネット強化」「地域文化の存続」「放射能不安への対応」「地元主体のネットワーク促進」の5つの課題に対応する支援を実施。宮城と岩手では、被災者のニーズを拾い上げて公的支援につなげる「フードバンク事業」のほか、支援人材の育成や組織基盤強化にも力を入れている。▶▶P3
- ②熊本地震被災者支援  
2016年4月～  
熊本の人々や地域の力で復興することを後押しするため、JPFは人材育成事業と連携促進事業を実施。



1月29日に開催した福島の現状と「明日」について語り合うイベント風景



# JPF加盟NGO対談

JPFには47のNGOが加盟し、国内外で得意分野を生かした支援を実施しています。これまでJPFが加盟NGOとともに届けてきた支援規模は、2017年3月末時点で47の国と地域で1300事業以上、450億円以上にのぼります。加盟NGOの難民を助ける会(AAR Japan)の古川千晶氏とパルシック(PARCIC)の西森光子氏に、JPFの魅力についてお話を聞きました!



**PARCIC**…当団体は、緊急期だけでなく復興期、開発期と長く被災者に関わることをめざしています。例えば、東ティモールにおける紛争による被災者支援では、緊急期に医薬品配布や教育施設の修復を行った後、現地のコヒー農家を支援し、その組合作りや品質改善までをサポートしました。

**AAR**…AARは緊急支援、地雷、感染症対策、障がい者、啓発という5つの柱を据えて活動しています。名前の通り、難民を助けることを目的に、難民を生み出す原因にまでさかのぼった支援をしています。

**PARCIC**…JPFに加盟していると、緊急期はJPFの迅速な対応や資金助成のおかげで早めに出動できますね。

**AAR**…JPF加盟NGOのネットワークを通して現地の情報をスムーズに得ることができるようになりました。特にスリランカでは、ネットワークのあるPARCICは心強い存在になるのではないのでしょうか。

**PARCIC**…トルコで支援していた時、ひきこもり家族に障がいをお持ちの方がいらしたんです。AARに相談した結果、車いすと補聴器を支援することができました。日頃から顔のわかる関係であるが



パルシック(PARCIC)/西森光子氏(右) 海外事業を実施する民際協力部で主にスリランカ事業を担当  
難民を助ける会(AAR Japan)/古川千晶氏(左) 緊急人道支援プログラムマネージャー

ゆえに連携でき、自分たちの力だけではできないことを実現できたエピソードだと思います。

**AAR**…個々のNGOの強みを生かした事業を集結させ、プログラムとして大きなことができるのはJPFの良さですね。

**PARCIC**…JPFを通して現地政府の動きがわかるのもいいですね。現地での支援活動をするにあたって必要なビザや団体登録に関する情報も共有することがあります。

**AAR**…今後はJPFに集まる企業や団体が、もっとさくばらんに意見交換できるように交流が活発化するといふことを期待しています。

## 現場での体験がモチベーション



JPFに入職してから多くの支援プログラムを通して出会いがありました。特に古田中にとって思い深いのが2010年の独立前のスーダン南部出張。JPF加盟NGOの奮闘する姿、そして支援を受ける方の生の声に触れることができ、支援活動の現場を体感できました。JPF加盟NGOが互いに協力し合いながら、より質の高い支援を求めていたのも印象的でした。南スーダンはその後独立したものの政情は安定せず、食糧危機も続き、JPFは引き続き支援を実施しています。今は、保育園に通う息子がいるため長期の出張の機会が少ない古田中ですが、過去の現場視察経験が寄付者に支援の必要性を伝えるモチベーションとなっています。

## 寄付者と被災者と支援者をつなぐ



渉外部の主な仕事は、JPFを応援してもらうための土壌づくりや寄付の仕組みを整えること、寄付者へのお礼と活動報告などです。この日は、寄付者へのお願いをするチラシについて、制作会社の方と打ち合わせ。寄付金で実現できた支援活動を、チラシを通して寄付者に身近に感じていただけるよう、制作会社の方と一緒に効果的なデザインや見せ方を考えます。こうした結果、寄付者からうれしい反応をいただくことは、寄付者と被災者と支援者をつなげるパイプ役としての醍醐味を感じる瞬間!だからこそ、寄付者からいただくお声一つ一つに丁寧に対応していくことも大切にしています。

# JPF事務局スタッフをズームアップ

必要としている人々に必要な支援を迅速に届けるため、NGOや企業や政府などが強みを発揮して連携できるよう、日々奮闘しているJPF事務局スタッフ。「日頃どんな活動をしているの?」というギモンにお応えし、スタッフの活動をご紹介します。



渉外部  
**古田中由華**  
JPFで企業や個人の窓口となる渉外部に所属し、寄付者にむけてのメッセージを考える日々。新卒では、金融機関の人事部に勤務。海外の大学院留学などを経てJPFに渉外・広報担当として入職。様々な調整業務や、JPFにとって転機となった東日本大震災の支援立ち上げも経験。その後一旦民間企業に転職するものの、出産を機に一昨年前より再びJPFに復職。

# プラットフォームでともに支援する人々



ジャパン・プラットフォーム(JPF)は、NGO・経済界・政府が対等なパートナーシップのもとに連携し、迅速かつ効率的な緊急人道支援を行うためのしくみ(プラットフォーム)です。NGO・経済界・政府・JPF事務局の活動や素顔をご紹介します。

## 外務省・民連室長に聞きました!

JPFの大切なパートナーである日本政府。JPFは2000年設立以降、外務省国際協力局民間援助連携室(以下、民連室)と連携しながら海外での人道支援を実施しています。このコーナーではJPFへの期待などをお伺いします。



外務省 国際協力局 民間援助連携室の佐藤靖室長

## 企業にインタビュー

株式会社良品計画  
企画室 広報・IR担当課長  
大栗麻理子氏

JPFのパートナーとして支援を届ける企業にお話を伺うコーナー。今回は、株式会社良品計画(以下、良品計画)企画室 広報・IR担当課長の大栗麻理子氏にインタビュー。良品計画は、お買い物を通して、災害への備えに向けた寄付や東日本大震災支援をお寄せいただいています。

※募金券  
<https://www.muji.net/store/cmdty/donation/>

## 「いつものもしも」の気持ちで、災害への備えや社会に貢献

**JPF**…無印良品の社会貢献に関する方針をお聞かせください。

**良品計画**…弊社は「商いを通して社会に貢献する」という考えのもと、製品を通して社会の役に立ち、それぞれの事業の範囲でできることを実行しております。また、特定の部署や誰かが担当になるのではなく、社員全員が、すべての事業が社会への貢献につながることを考えています。

**JPF**…JPFがお世話になっている募金券の仕組みもその一つですね。

**良品計画**…ネットストア担当者が「ネットストア」というプラットフォームで、お買い物ついでに何かできるという「ね」というアイデアや日頃のお客様の声から誕生した仕組みなんです。

**JPF**…災害時の備えに向けた寄付もお寄せくださっている点があります。

**良品計画**…日用品を扱う当社には、「いつものもしも」という考え方が商品開発の基本にあります。例えば、カセットコンロは持ち運びしやすいように、キャリーケースを別売りで販売しています。JPFの備えへの協力も「いつものもしも」の延長なんです。

**JPF**…JPFのどんな点に共感していただいていますか?

**良品計画**…お店は商品を売るだけでなく、お客様に商品を通して楽しんでもらうため、より良い暮らしをしたいと思ってもらっています。

**JPF**…ありがとうございます!最後に、今後JPFに期待することを教えてください。

**良品計画**…JPFは多くの企業が集まるプラットフォームでもあるので、社会貢献を活動にしている企業の方による講演など、企業も知見を共有できる場を作っていただければと思います。



株式会社良品計画 企画室 広報・IR担当の大栗麻理子課長